

3. 申請者の住所等連絡先

郵便番号		自宅・自宅外の別	
現住所			
	学寮・アパートの名称等		号室
連絡先	固定電話		携帯電話
E mail アドレス	大学発行		
	携 帯☆		
	P C☆		

(注) 携帯及びP Cのアドレスは本財団との連絡手段であり、最低限片方の記入は必須です。

4. 履歴 (高校以降) ※職歴を含む (アルバイトを除く)

西暦年	月	年	月	(立)	高等学校卒業
		~			
		~			
		~			
		~			
		~			
		~			
		~			

(注) 空白期間のないように記載してください。

高校は、県立、市立、私立等の別を記入してください。

5. 資格・特技、賞罰

資格・特技	
賞罰	

7. 家族の状況及び家庭の実情

(1) 家族の状況 ※主たる扶養者(1名)の「続柄」欄に○を付すること(単位:千円)

扶養者住所	郵便番号		電話番号			
続柄	氏名	年齢	自営・勤務・無職 ・学生等の別	扶養者との同居 ・別居等の別	本人との同居 ・別居の別	前年の年間収入 (税込み)
父						
母						

(注) 家族は、生計を一にしているかどうかに関わらず、父母、兄弟姉妹、配偶者、子供及び扶養者と同居している親族のすべてを記入してください。

(2) 家庭の実情 (家族の経済状況、健康状態その他特記事項)

8. 申請者の経済状況

(1) 授業料等とその資金出所 (年額)

(単位：千円)

本学年見込み(本財団の奨学金を除く)		前学年実績(前年度に学生でない者は記入不要)	
授業料等の費用		授業料等の費用	
授業料		授業料	
その他納付金		その他納付金	
授業料免除(減免) ▲		授業料免除(減免) ▲	
決定	申請中		
費用合計		費用合計	
資金の出所		資金の出所	
() から		() から	
() から		() から	
() から		() から	
() から		() から	
資金の合計	0	資金の合計	0

(注) 「その他納付金」欄は、入学金、設備費等大学への納付金を含みます。

「授業料免除(減免)」欄は申請中の場合は金額を記入しないでください。

「資金の出所」欄の記載例：両親、〇〇奨学金、自己資金(アルバイト)、自己資金(貯蓄の取崩し)

「費用合計」と「資金の合計」が同額となることに留意してください。

(2) 生活費等の収支 ((1) で記入したものを除く)

(単位：千円)

本学年の平均月額(見込み)		前学年の平均月額(実績)	
収入		収入	
家族から		家族から	
アルバイト		アルバイト	
他の奨学金		他の奨学金	
貯蓄の取崩し		貯蓄の取崩し	
その他(内容:)		その他(内容:)	
収入合計		収入合計	
支出		支出	
食費		食費	
住居費(光熱費を含む)		住居費(光熱費を含む)	
交通費(通学費)		交通費(通学費)	
通信費(電話、ネット代)		通信費(電話、ネット代)	
教材費		教材費	
貯蓄(目的:)		貯蓄(目的:)	
その他(内容:)		その他(内容:)	
支出合計		支出合計	

(注) 自宅通学者の場合、「食費」は外食分とし、「住居費」は原則0円と記入してください。

「収入合計」と「支出合計」が同額となることに留意してください。

(3) 奨学金の受給状況（授業料免除（減免）は除く）

①現在受給中、申請中及び申請予定のもの

(単位：千円)

奨学金名・支給団体名 (給与・貸与の別)	年 額	受給期間				状 況
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			

(注) 受給が決定したものは受給前であっても「受給中」と記入してください。

②前年度まで受給していたもの（本財団を含む）

(単位：千円)

奨学金名・支給団体名 (給与・貸与の別)	年 額	受給期間							
		20	年	月	～	20	年	月	
		20	年	月	～	20	年	月	
		20	年	月	～	20	年	月	
		20	年	月	～	20	年	月	
		20	年	月	～	20	年	月	
		20	年	月	～	20	年	月	

(注) 本年度も引き続き受給する場合は、①の表に記入してください。

9. 奨学金の用途

10. 将来の計画
<学部生用>

① 将来計画 (将来進みたい分野 や就きたい職業)	<hr/>
② その理由や準備 している内容	<hr/>

(注) 学部卒業後に進学を想定している場合には、その内容を記載してください。

<大学院生用>

① 指導担当教員の 氏名・役職	
② 研究テーマ	
③ 研究の背景	
④ 研究の目的	
⑤ 研究の スケジュール	
⑥ 研究の成果	(注) 博士課程生はこれまでの成果を、修士課程生は卒業論文等について記入してください。
⑦ 学業修了後の進路 (就きたい職業分野、将来計画)	

奨学生候補者推薦状

2019年 月 日

公益財団法人 日本証券奨学財団

理事長 殿

大学名 _____

学(総)長 _____ ⑩

以下の学生は、学業、人物ともに優秀で、かつ、学費の援助をすることが必要であると認められますので、貴財団の奨学生候補者として推薦いたします。

なお、奨学生として採用された場合には、貴財団の諸規程を遵守し、またもし給与停止の要件に奨学生が該当したときは、その旨を遅滞なく貴財団に連絡することを確約します。

○奨学生候補者

学部／研究科	学科／課程	／専攻	学年
フリガナ 氏 名			

以上

個人情報の利用に関する同意書

公益財団法人 日本証券奨学財団は、個人情報を以下のとおり取り扱います。

奨学生願書に記載された個人情報は、奨学生の選考、結果の通知、採用後の各種通知・連絡のみに使用し、他の目的には一切使用いたしません。なお、奨学生に採用された場合は、願書に記載された個人情報のうち、氏名、年齢、性別、大学名、所属学部・研究科、研究テーマ及び修了後の進路等の情報を用いて作成した名簿等を奨学生、同友会員、大学関係者、財団の役員・評議員・委員等の関係者に配付する等個人情報の提供を行います。

1. 個人情報の取得

本財団では、個人情報の利用目的を明らかにし、本人の意思で提供された情報を取り扱います。

2. 個人情報の利用目的

本財団が取り扱う個人情報は、その利用目的の範囲内でのみ利用します。

また、利用目的を遂行するために業務委託する場合並びに法令等の定めに基づく場合や、人の生命、身体または財産の保護のために必要とする場合を除いて個人情報を第三者へ提供することは致しません。

3. 管理体制

- (1) すべての個人情報は、不正アクセス、盗難、持出し等による、紛失、破壊、改ざん及び漏えい等が発生しないように適正に管理し、必要な予防・是正等適切な安全管理措置を講じます。
- (2) 個人情報をもとに、利用目的内の業務を外部に委託する場合は、その業者と個人情報取扱契約書を締結するとともに、適正な管理が行われるよう管理・監督する。
- (3) 個人情報の本人による開示・訂正、利用停止等の取扱いに関する問合せは、随時受け、適切に対応します。
- (4) 本財団では、「個人情報の保護に関する法律」及びその他の規則に則って業務運営に務めて参ります。
- (5) 個人情報保護の管理体制については、事業やそれを取り巻く法令等の環境の変化等に応じて、継続的に見直し、改善いたします。

以上

2019年 月 日

公益財団法人 日本証券奨学財団
理事長 殿

私に関する個人情報を上記のとおり取り扱うことに同意します。

大学名

本人署名

㊟

提出書類一覧（確認用）

提出書類	確認 ✓						
1. 奨学生願書本文 （注）記載事項に漏れや誤りがないよう、再度確認してください。 <table border="1" data-bbox="691 593 1220 1003"> <tr> <td data-bbox="691 593 1220 728">○写真1枚（願書貼付）</td> <td data-bbox="1220 593 1361 728"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="691 728 1220 862">○奨学生候補者推薦状</td> <td data-bbox="1220 728 1361 862"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="691 862 1220 1003">○指導担当教員所見</td> <td data-bbox="1220 862 1361 1003"></td> </tr> </table>	○写真1枚（願書貼付）		○奨学生候補者推薦状		○指導担当教員所見		
○写真1枚（願書貼付）							
○奨学生候補者推薦状							
○指導担当教員所見							
2. 成績証明書 （注）直近の年の原本又は写し							
3. 住民票（直前6カ月以内発行のもの）の写し（家族の状況欄に記載された全員が掲載されたもの） 又は在留カードの写し若しくは特別永住者証明書の写し （注）現住所と異なる場合は、大学が発行する「居住証明書」を添付							
4. 個人情報の利用に関する同意書							

（注）上記の書類は、一切返却いたしません。

以上